

- 問1 豊臣秀吉が行った太閤検地や刀狩などの政策は、社会の仕組みを大きく変化させました。これら一連の政策によって進められた「兵農分離」が示す内容として、最も適切な説明を選びなさい。 (2017年 秋田県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|-------------------------------------|
| 1. 武士と農民を対等な立場とし、双方が協力して村の自治運営を行う体制を整えた。 | 2. 武士に農業を奨励して食料自給率を高めると同時に、農民にも名字帯刀を許した。 | 3. 武士と農民の身分を明確に区別し、武士が農民を支配する社会構造を確立した。 | 4. 農民が自由に職業を選べるようにすることで、商工業の発展を促した。 |
|--|--|---|-------------------------------------|
- 問2 豊臣秀吉が全国統一を成し遂げた後、多大な軍費と兵力を投じて二度にわたる「朝鮮出兵」を行った主な背景や目的として、最も適切なものはどれですか。 (2024年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. キリスト教の布教を支援するために、朝鮮半島を経由してヨーロッパとの貿易を拡大しようとしたため。 | 2. 当時の中国を支配していた明の征服を目指し、その経路上にある朝鮮半島を制圧しようとしたため。 | 3. 朝鮮半島から金や銀を大量に輸入することで、国内で鑄造する貨幣の質を高めようとしたため。 | 4. 元寇の際に受けた被害に対する報復として、鎌倉時代から続く大陸との対立を解消しようとしたため。 |
|--|--|--|---|
- 問3 太閤検地において、豊臣秀吉が「升（ます）」の大きさを統一し、全国共通の基準で土地の生産力を米の量で表した仕組みを何といいますか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|--------------|--------------|--------------|
| 1. 地価（ちか）制度 | 2. 班田（はんでん）制 | 3. 石高（こくだか）制 | 4. 貫高（かんだか）制 |
|-------------|--------------|--------------|--------------|
- 問4 豊臣秀吉に重用された千利休が完成させた「わび茶」の説明として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 豪華な金箔や高価な中国製の器を誇示するのではなく、簡素で静かな佇まいの中に美しさを見出すスタイル。 | 2. 禅宗の教えを基にしながらも、能楽や狂言と組み合わせで將軍の御所などで披露された芸能。 | 3. 大陸から伝わった水墨画の技法を取り入れ、茶室の壁面に自然の風景を再現することを目指した形式。 | 4. 書院造の広大な部屋で、身分の上下を厳格に区別しながら大規模な茶会を催す形式。 |
|--|---|---|---|
- 問5 2007年に世界文化遺産に登録された石見銀山遺跡が、他の大規模な鉱山遺跡と異なり、国際的に高く評価された特徴としてふさわしい説明はどれですか。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|--|
| 1. 鉱山の運営に必要な森林資源の保護に配慮するなど、自然環境と共生した生産体制が維持されていた点。 | 2. 明治以降の近代化を支えるため、当時の最新技術であった製鉄業と一体化した巨大工場群が残っている点。 | 3. 採掘された銀がすべて遣隋使や遣唐使の派遣費用として、大陸への支払いに充てられていた点。 | 4. 日本で初めて労働組合が結成され、賃金の上昇と労働時間の短縮が実現した発祥の地である点。 |
|--|---|--|--|
- 問6 豊臣秀吉が行った太閤検地では、全国で統一された「京ます」や「検地尺」という道具が用いられ、土地の面積や生産力が一律の基準で調査されました。この調査によって確立された「一地一作人」の原則が、それまで土地を支配していた公家や寺社などの荘園領主にもたらした影響として最も適切なものを説明したものを選びなさい。 (2023年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|--|---|
| 1. それまで持っていた荘園領主としての地位や土地に対する権利を失った。 | 2. 独自の基準で年貢を徴収する権限が強化され、幕府から領地の支配権を公認された。 | 3. 土地を直接耕作する権利が認められ、農民と同じ立場で検地帳に登録された。 | 4. 軍役を負担する代わりに、広大な土地を所有する大名としての地位を確立した。 |
|--------------------------------------|---|--|---|
- 問7 大航海時代において、ローマ教皇から新領土の占有を認められる条件として、キリスト教の布教を義務付けられ、日本への鉄砲伝来やキリスト教伝来にも深く関わった2つの国家の組み合わせとして適切なものを選んでください。 (2024年 大分県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|---------------|-------------|--------------|
| 1. イタリアとドイツ | 2. ポルトガルとスペイン | 3. フランスとロシア | 4. イギリスとオランダ |
|-------------|---------------|-------------|--------------|
- 問8 世界史と日本史における東西交流に関する次の3つの出来事「十字軍の派遣」「バスコ・ダ・ガマのインド到達」「天正遣欧少年使節の派遣」を、発生した年代の古い順に正しく並べたものはどれか。 (2021年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 天正遣欧少年使節の派遣 → 十字軍の派遣 → バスコ・ダ・ガマのインド到達 | 2. 十字軍の派遣 → 天正遣欧少年使節の派遣 → バスコ・ダ・ガマのインド到達 | 3. バスコ・ダ・ガマのインド到達 → 十字軍の派遣 → 天正遣欧少年使節の派遣 | 4. 十字軍の派遣 → バスコ・ダ・ガマのインド到達 → 天正遣欧少年使節の派遣 |
|--|--|--|--|
- 問9 太閤検地において、土地の生産力を表すために導入された「石高（こくだか）」の仕組みと影響について述べた文として正しいものはどれですか。 (2014年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 土地の所有権をあいまいにすることで、複数の貴族や武士が同じ土地から利益を得る荘園制を維持した。 | 2. 武士が戦場に連れて行く馬の数や武器の量を基準にして、それぞれの領地の価値を定めた。 | 3. 実際に収穫された米の重さを毎年計測し、その年の天候に応じて徴収する年貢の割合を変動させた。 | 4. 土地の面積に等級（生産性の違い）を掛け合わせて算出され、一人の耕作者が一つの土地を登録する原則が確立した。 |
|--|--|--|--|
- 問10 16世紀、イエズス会が日本を含むアジアなどの海外への布教活動を積極的に行った背景として、最も適切な説明はどれですか。 (2026年 山梨県公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
| 1. ルネサンスの影響により、キリスト教以外の学問が禁止されたため。 | 2. ヨーロッパで宗教改革が起こり、カトリック教会の勢力が縮小したため。 | 3. 島原・天草一揆の結果、幕府がキリスト教の布教を許可したため。 | 4. 大航海時代の到来により、ヨーロッパ全域がイスラム教に支配されたため。 |
|------------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|
- 問11 16世紀にヨーロッパで起こった宗教改革について、その背景や目的を説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2020年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. イスラム勢力の拡大に対抗し、聖地エルサレムを軍事的に奪還することを目指した。 | 2. 科学技術の向上と機械の導入により、手作業に頼っていた生産活動を工業化しようとした。 | 3. 古代ギリシャ・ローマの文化を復興させ、人間中心の自由な文化や芸術を追求した。 | 4. それまでの教会の権威や形式的な儀礼を批判し、聖書に基づいた信仰のあり方を目指した。 |
|---|--|---|--|
- 問12 15世紀後半から16世紀にかけて、ポルトガルなどのヨーロッパ諸国が航海技術を発展させて海外へ進出した「大航海時代」の影響について述べた文として、正しいものはどれか。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|---|
| 1. ポルトガルの植民地となった影響で、南アメリカ大陸のブラジルでは現在もポルトガル語が公用語となっている。 | 2. スペインがブラジルを植民地としたため、周辺の国々とは異なりブラジルではスペイン語が公用語となっている。 | 3. 第二次世界大戦後の独立運動により、南アメリカの国々ではヨーロッパ由来の言語が公用語として使用されなくなった。 | 4. 産業革命による工業製品の輸出を目的として、ポルトガルが南アメリカ大陸の全域を支配下に置いた。 |
|--|--|---|---|